

BARCOS

プレスリリース

「倉吉ニューシネマプロジェクト」への参画について

2025年3月19日

株式会社バルコス

株式会社バルコス（本社：鳥取県倉吉市、代表取締役社長：山本 敬、以下「当社」）は、鳥取県倉吉市を舞台とした名作漫画『遙かな町へ』（原作：谷口ジロー）の映画化プロジェクト「倉吉ニューシネマプロジェクト」に参画することをお知らせいたします。

1. 『遙かな町へ』とは

『遙かな町へ』は、谷口ジローが手掛けた数少ない原作漫画のひとつで、昭和時代の倉吉市を舞台に、48歳のサラリーマンが中学生時代にタイムスリップし、主人公を通して改めて何気ない日常の中に隠された、家族や青春の何気ない日々大切さを再認識させられ、取り返しのつかない過去とだからこそ今をしっかりと生きなければいけないというメッセージ性のある作品です。谷口ジロー氏の作品はヨーロッパ、特にフランス、ドイツ、ベルギーを中心に人気が高く、本作品も数々の国際的な賞を受賞しています。

2. 映画化に向けて

『遙かな町へ』は、国内外で高い評価を受けており、長年にわたり映画化を望む声が寄せられてきました。このたび、鳥根県平田市出身の映画監督・錦織良成氏がメガホンを取り映画化が実現します。鳥取県の平井伸治知事の「地域としても10年前から追いかけていた夢が実現する」の言葉にもあるように、行政や地域住民にとっても長年の夢が実現する形となり、とても大きな期待が寄せられています。過去には2010年、舞台をフランスに移し、フランス、ドイツ、ベルギー、ルクセンブルクの共同制作で映画化されました。このことは、本作が舞台や国籍を超えて多くの人々の心に響く、普遍的な物語であることを示しています。今回の映画化では、原作に基づき、倉吉市を舞台に1963年と1998年を行き来するなかで、地方都市、そこに住む家族、地域の人々の何気ない日常を、タイムスリップしてきた大人の人生観と多感な少年の心を持つ主人公を通して描かれます。

3. 当社の役割と映画事業への参画意義

当社は倉吉市発のバッグメーカーとして、これまで地域とともに歩んでまいりました。この『遙かな町へ』は、世界が認めた地域が誇るコンテンツであり、それを映画化すること

により、この地域の魅力が日本全国又世界へと広がることは、この地域で生活するものとして最高の喜びであり、最高の地域貢献と考え、当社は本映画プロジェクトへの参画を決定いたしました。又弊社は「創る、造る、売る」という経営理念のもと地方に根付きながら付加価値の創造を行ってきました。映画への出資、参画は映画の持つ高い付加価値を今後の当社の成長に活かすためです。

- 映画を通し地域に新しい付加価値を創造する。
- 当社理念に合う映画に出資することによる、当社自身のバルコスブランド価値向上。
- コンテンツビジネスの構造を理解し、今後その市場に参画する。

映画による世界観の共有は、弊社のマーケティング戦略やブランド価値向上において極めて大きな影響を持つと考えます。世界規模でのブランド波及効果を生み出し、当社の知名度、イメージの向上に寄与するとともに、これまでにない顧客層の獲得を可能にすると考えています。

4. 今後のスケジュール（予定）

- 2025 年春：出演者決定、オーディション実施
- 2025 年夏：映画撮影開始
- 2026 年秋：公開予定（国内外の映画館およびオンライン配信を予定）

5. おわりに

当社は「創る、造る、売る」を経営理念に掲げ、地方発の企業としてさまざまなライフシーンを美しく豊かに演出する企業を目指し、現在まで規模を拡大してきました。今回初めて映画制作に取り組むこととなりましたが、この挑戦を通じ地域が活性化し、当社の企業価値が上がっていくことを目標としています。

映画を通じ当社の理念が幅広く世界に届けられるようになれば、ブランド価値は無限に広がると考えております。今後も一人でも多くの方が「美しく豊かに暮らす」を実現できるよう努力してまいります。

本件に関する詳細情報は、当社ホームページにて順次公開してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社バルコス 高田、矢野

電話番号：0858 - 48 - 1440